

新型コロナウイルス感染症にかかる 病床確保計画の見直し（案）

病床確保計画の見直しについて

●大阪府病床確保計画(7月10日策定)

○新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた病床の運用を図るため策定した計画

【フェーズ毎の確保病床数の等の設定方法】

第1波において大規模感染を起こした他都市（東京都）の感染拡大状況と本府の療養状況を分析した推計を基に設定。

○8月以降、各医療機関は、病床確保計画に基づき病床を運用

	～8月10日	8月11日	8月12日	9月16日	10月9日
重症	フェーズ2	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ2	フェーズ2
軽症中等症	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ3	フェーズ2	フェーズ1

○フェーズ4（最大感染拡大時）において確保可能な病床数（10月14日現在）

重症病床:206床 軽症中等症病床:1,155床

※フェーズ4における設定病床（重症215床、軽症中等症1,400床）の確保に向け、各医療機関と調整中。

●病床確保計画の見直しのポイント

① 感染拡大ピーク時における必要病床数の推計

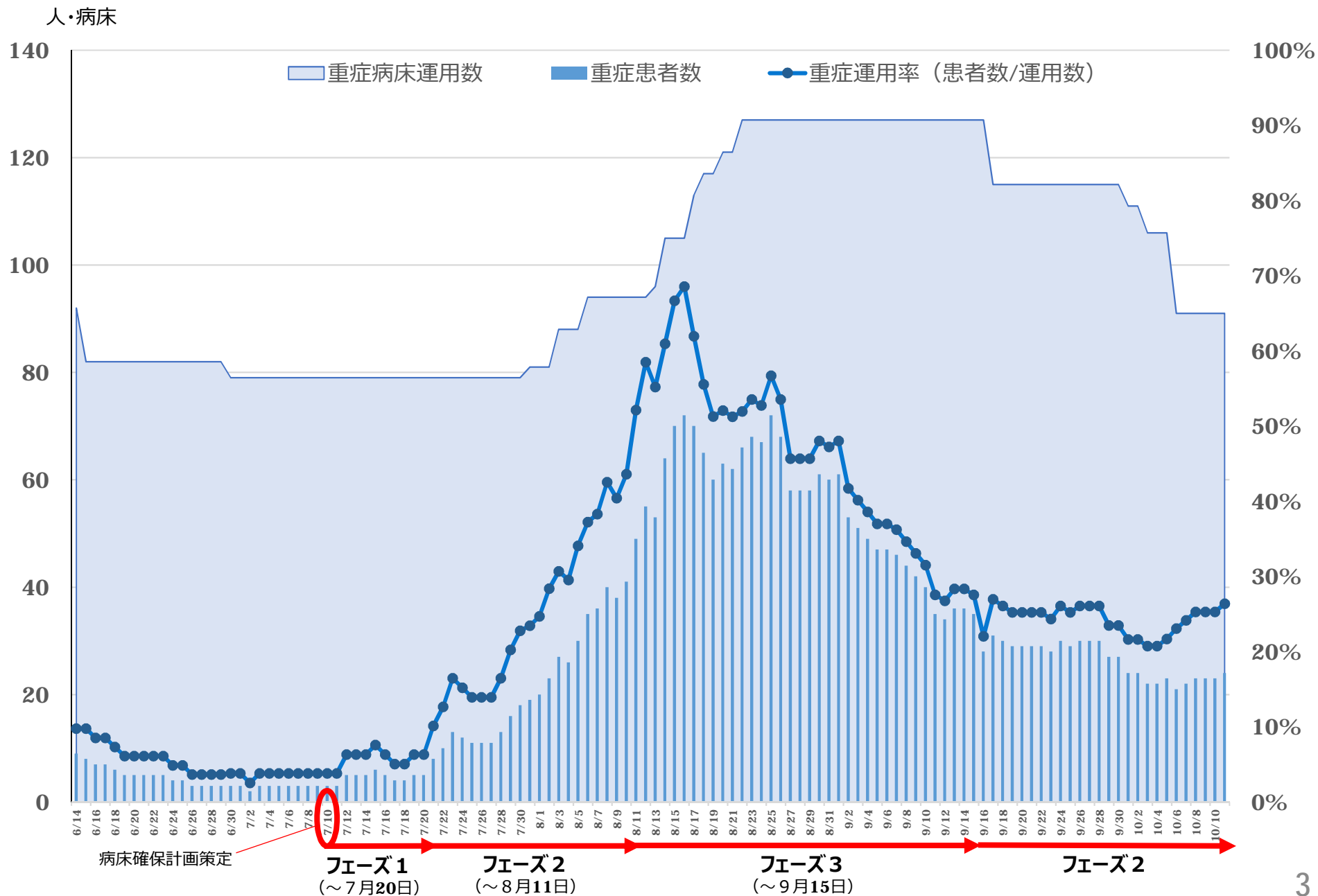
・「検査数予測から推計した新規陽性者数の想定（陽性率2%、重症化率3.5%）」を反映。

② 感染状況に応じたフェーズ毎の確保病床数

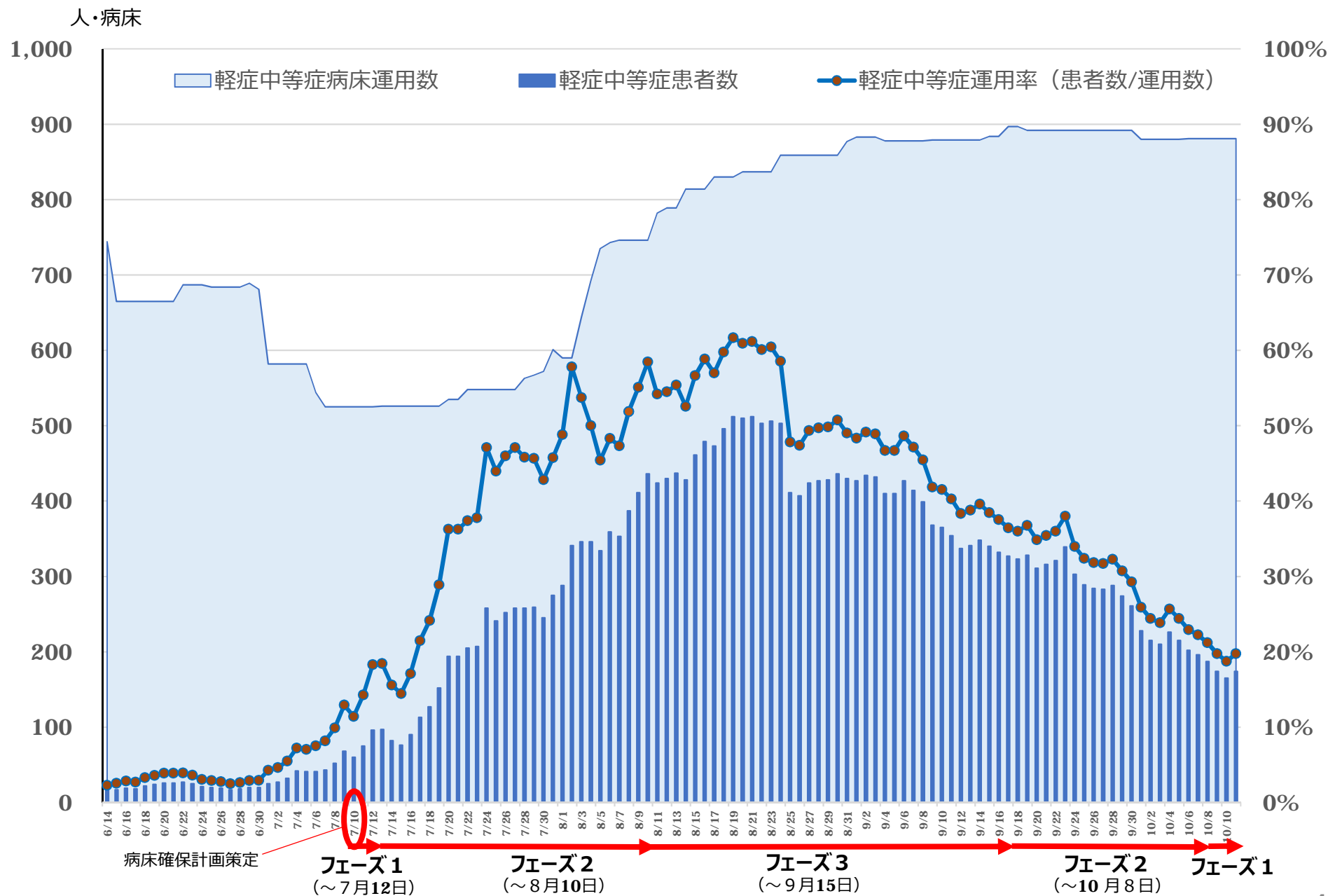
・「新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関」の意向（確保可能な病床数）を反映。

【参考】第二波における患者数と運用数病床の推移（重症）

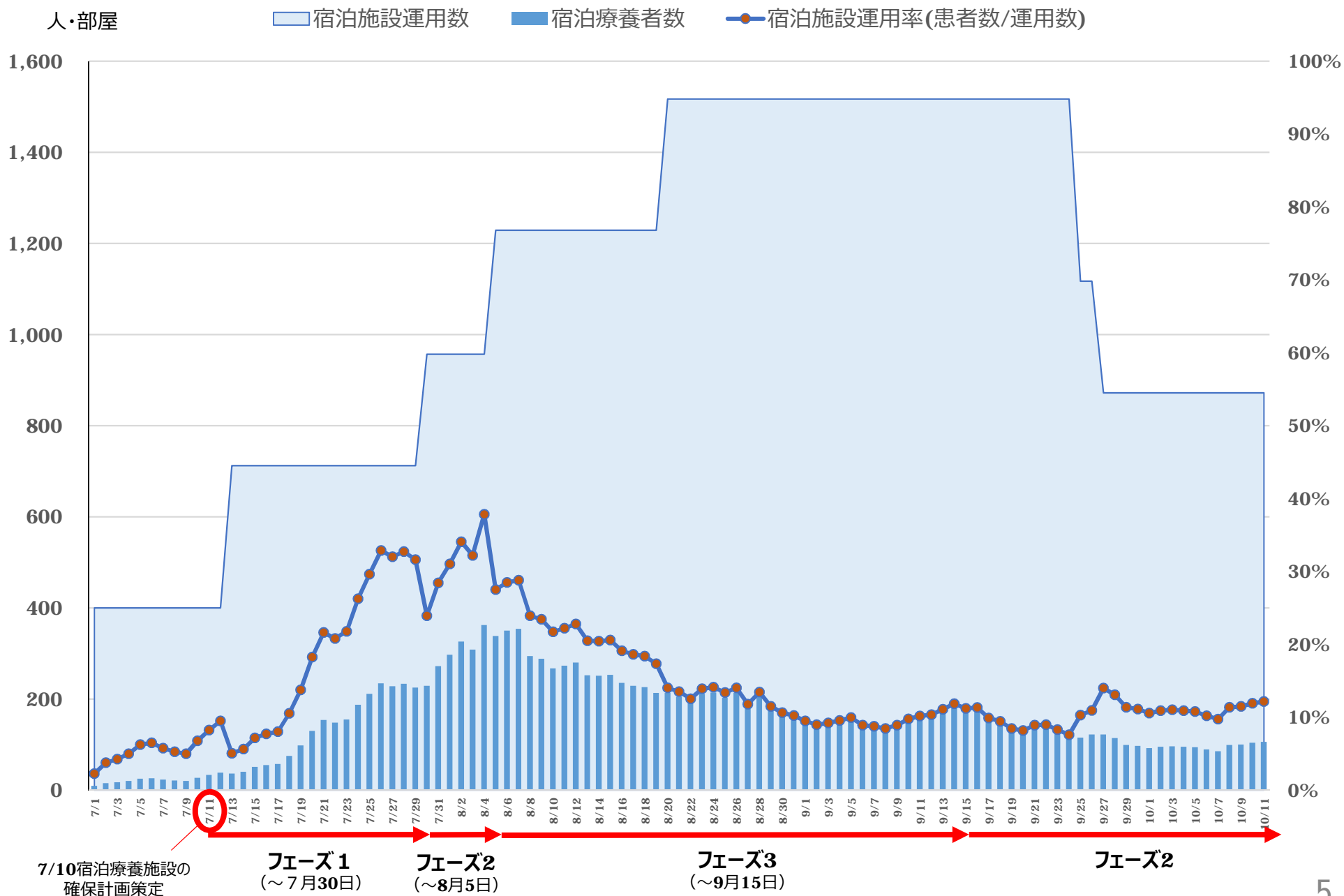
※R2.6.14以降を「第二波」と総称



【参考】第二波における患者数と運用病床数の推移（軽症中等症）



【参考】第二波における患者数と運用部屋数の推移（宿泊施設）

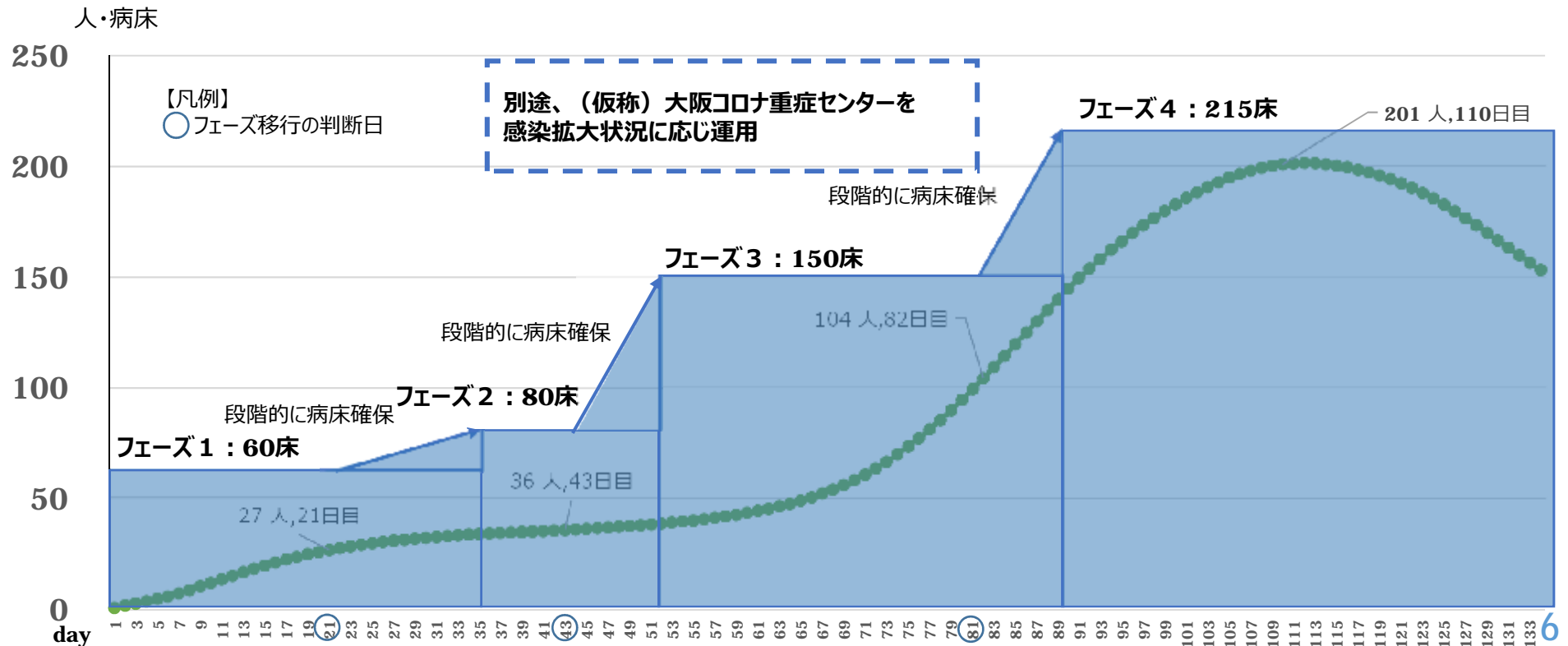


病床確保計画（見直し案）

感染拡大状況に応じた確保すべき病床数とフェーズ移行の判断基準（重症病床）

※赤字：見直し箇所

	設定 病床数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)
フェーズ1	60床	重症患者数およそ 27人以上 （病床使用率 45%以上 ）⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	80床	重症患者数およそ 36人以上 （病床使用率 45%以上 ）⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	150床	重症患者数およそ 105人以上 （病床使用率 70%以上 ）⇒フェーズ4移行準備
フェーズ4	215床	—

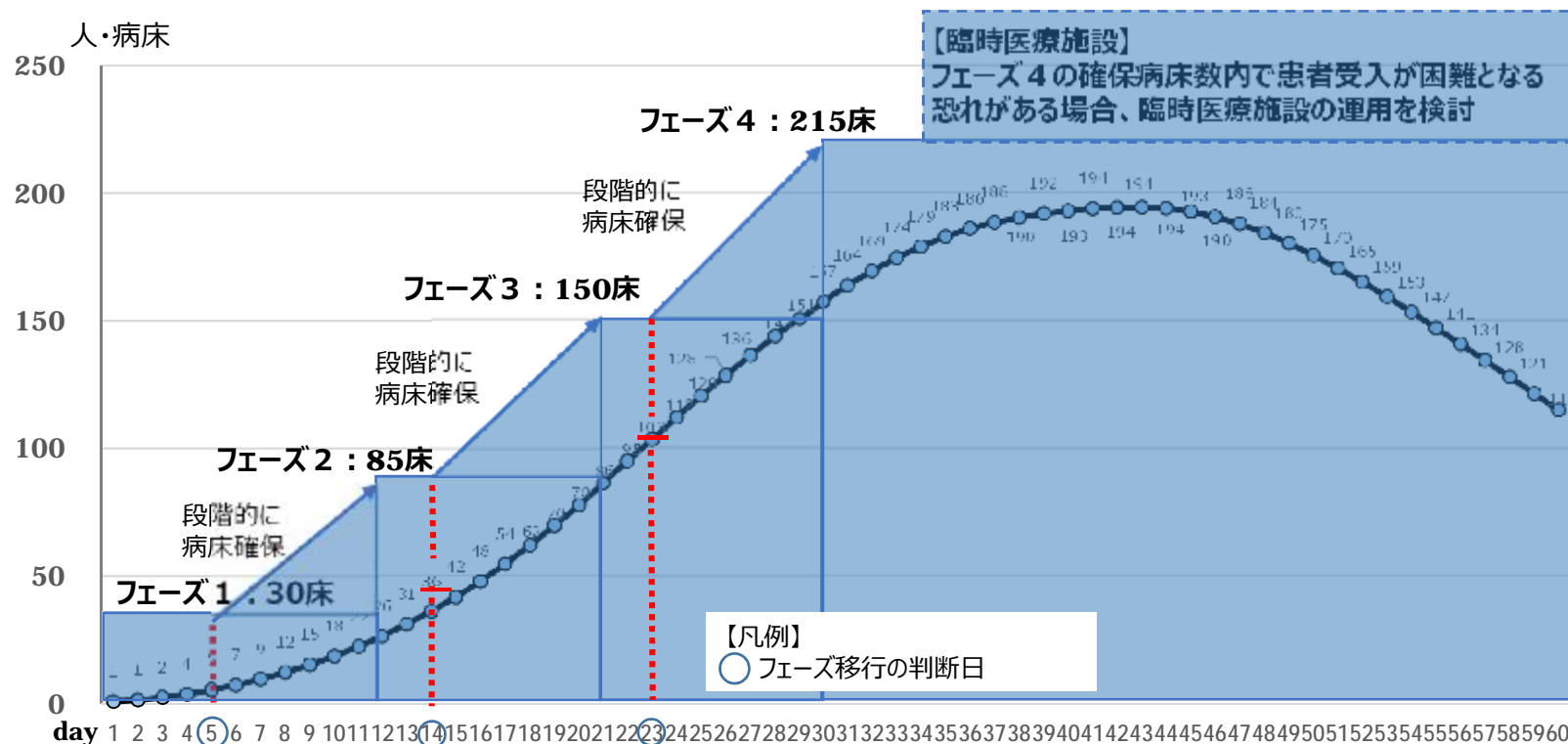


【参考】病床確保計画（7月10日策定）

感染拡大状況に応じた確保すべき病床数とフェーズ移行の判断基準（重症病床）

- ◆フェーズ毎に確保すべき病床数を、「感染拡大推計」と「新型コロナ患者等受入病床の準備に要する期間（1週間以内を目途に準備）」等を踏まえ、設定。

	設定 病床数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)
フェーズ1	30床	新規の重症患者数近直近1週間において5人以上 ⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	85床	重症患者数およそ34人以上（病床使用率40%以上） ⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	150床	重症患者数およそ105人以上（病床使用率70%以上） ⇒フェーズ4移行準備
フェーズ4	215床	—

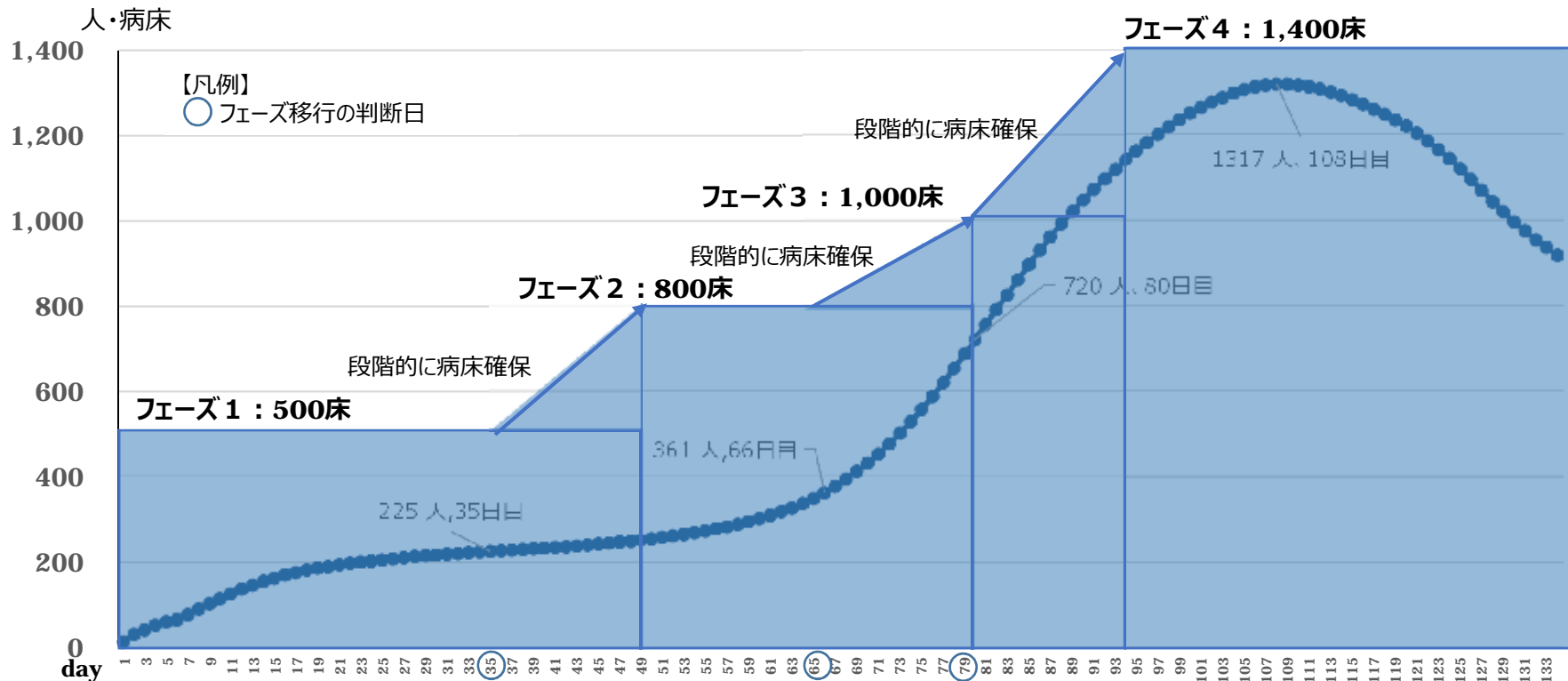


病床確保計画（見直し案）

感染拡大状況に応じた確保すべき病床数とフェーズ移行の判断基準（軽症中等症病床）

※赤字：見直し箇所

	設定 病床数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)
フェーズ1	500床	軽症中等症患者数およそ 225人以上 （病床使用率 45%以上 ）⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	800床	軽症中等症患者およそ 360人以上 （病床使用率 45%以上 ）⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	1,000床	軽症中等症患者およそ 700人以上 （病床使用率 70%以上 ）⇒フェーズ4移行準備
フェーズ4	1,400床	—

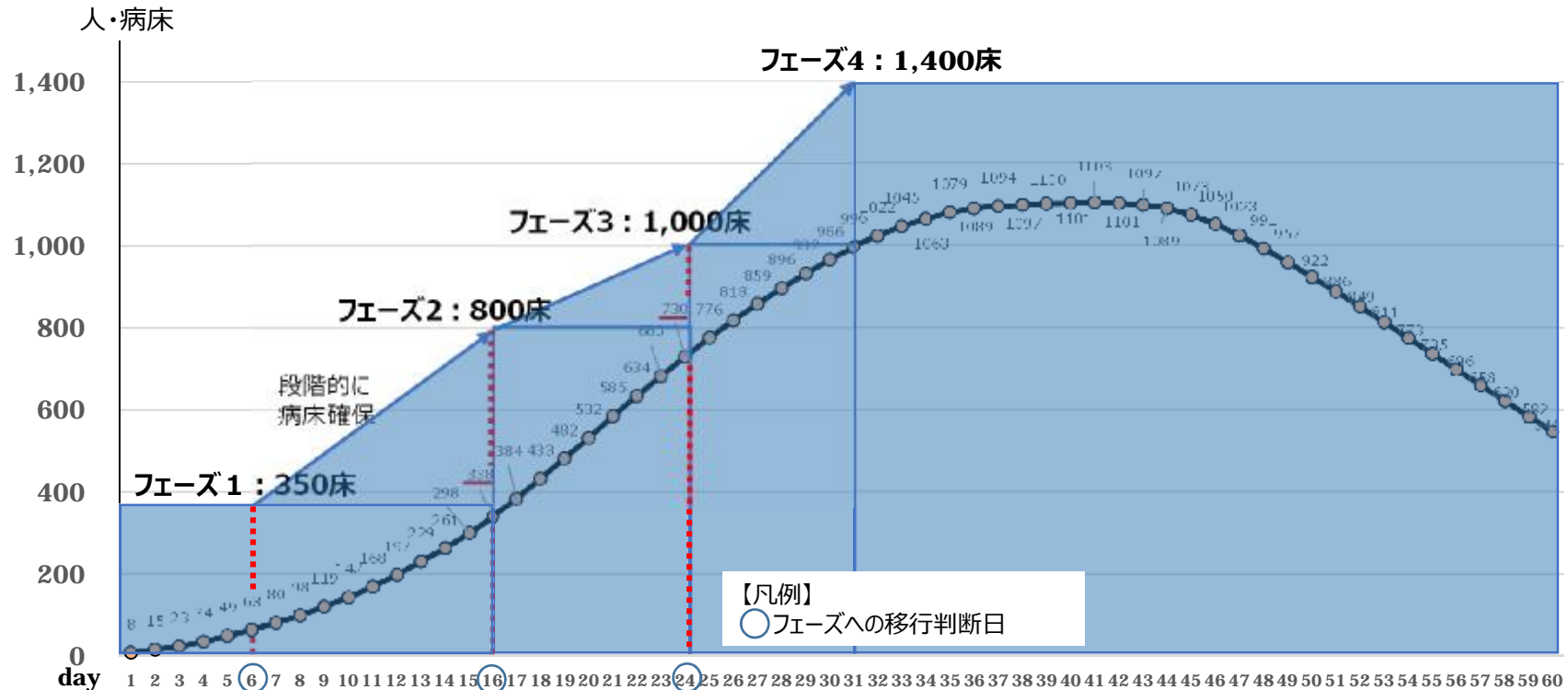


【参考】病床確保計画（7月10日策定）

感染拡大状況に応じた確保すべき病床数とフェーズ移行の判断基準（軽症中等症病床）

- ◆フェーズ毎に確保すべき病床数を、「感染拡大推計」と「新型コロナ患者等受入病床の準備に要する期間（2週間以内を目途に準備）」等を踏まえ、設定。

	設定 病床数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)
フェーズ1	350床	新規の軽症中等症患者が直近1週間において60人以上 ⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	800床	軽症中等症患者およそ320人以上（病床使用率40%以上）⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	1,000床	軽症中等症患者およそ700人以上（病床使用率70%以上）⇒フェーズ4移行準備
フェーズ4	1,400床	—

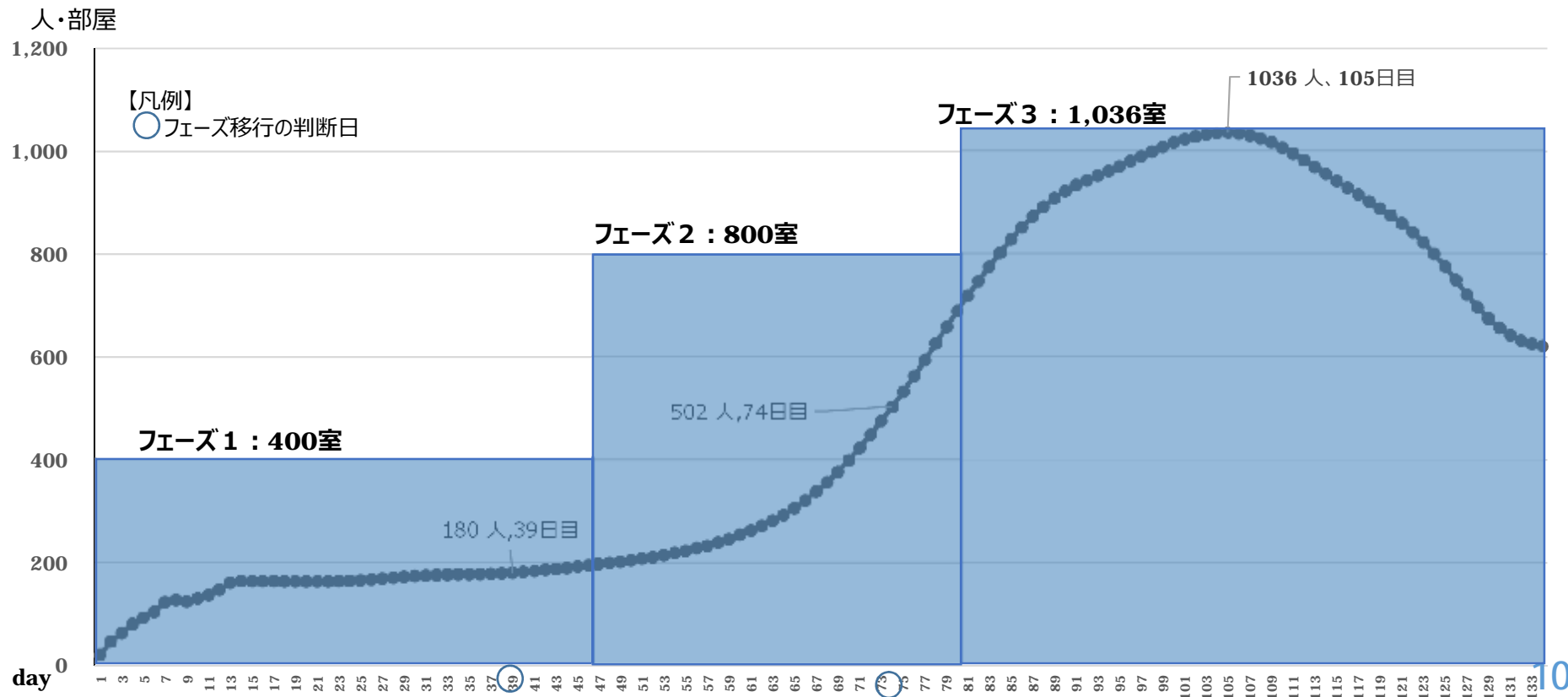


宿泊療養施設の確保計画（見直し案）

感染拡大状況に応じた確保すべき部屋数とフェーズ移行の判断基準

※赤字：見直し箇所

	設定 部屋数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)
フェーズ1	400室	療養者がおよそ180人以上（ホテル稼働率45%以上）⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	800室	療養者がおよそ480人以上（ホテル稼働率60%以上）⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	1,036室	—



【参考】宿泊療養施設の確保計画（7月10日策定） 感染拡大状況に応じた確保すべき部屋数とフェーズ移行の判断基準

◆フェーズ毎に確保すべき部屋数を、

「感染拡大の推計」と「療養者受入のためのホテルの準備期間（1週間程度）」等を踏まえ、設定。

	設定 部屋数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)
フェーズ1	400室	療養者がおよそ160人以上（ホテル稼働率40%以上）⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	800室	療養者がおよそ560人以上（ホテル稼働率70%以上）⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	1,015室	—

